

第 103 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 26 年 12 月 28 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 6 名
出席委員の氏名 児玉 昭義 大橋 民男 島田 貴司 小島 隆雄
欠席委員の氏名 木村 敏彦 堂園 孝美
放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸
4. 議題
 1. 番組編成に関して
 2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容
議 長：須藤 一郎、出欠席者の確認。
委 員 長：児玉 昭義、本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。
会社側委員：年末の特別番組として鎌倉芸術館で演奏されたベートーベンの交響曲第九番とグロリア合唱団のメサイアが放送されました。
委 員：どちらも大変好評な年末の放送で、恒例の特番となっておりますが、再放送をも含めて、演奏もさることながら、番組としても充実してきたと思う。
会社側委員：さる 12 月 13 日鎌倉エフエム放送開局 20 周年記念パーティを開催しました。一つの節目として新たなスタートを切ることになりますが、平時の情報発信基地としてはもとより、非常時の情報伝達メディアとしても機能が果たせるように努力したいと考えている。
委 員：平時の放送は充実してきたとおもうが、いざという時に何が出来かをも、平素から確認しておくべきである。
会社側委員：地域情報の発信基地としてサテライト中継放送の拡大も図っていきたい。
委 員：鎌倉エフエムの PR も兼ねながら、地域の方々とのタイアップによる地域の活性化に寄与することが出来ると思うので、大いに期待する。
会社側委員：バンドの生演奏を長谷のスタジオと準備室を使って放送したのが好評であった。オープンスタジオ的な環境から生中継できれば放送の PR としても効果的だと思う。サテライトを活用しての地域とのタイアップは有効なテーマだ。
委 員：番組審議会としても出来る限りの協力をしたと思う。
委 員 長：本日は有り難うございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日
ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し
以 上